



「一日一生」その日を精いっぱい生きる

今治市立亀岡小学校長 柚山 明

3学期の始業式では、全校児童に「一日一生」という言葉を紹介しました。この言葉は、「今日一日を、まるで一生のように大切に生きる」という意味があります。児童には、その日やらなければならないことや今できることにしっかりと取り組み、一日一日を精いっぱい生きましようと呼びかけました。それに応えるかのように、子どもたちは毎日、全力で活動しています。

以下に、12月から1月にかけての子どもたちの活動を紹介します。

校内持久走大会 冬晴れの空の下、持久走大会が開催されました。体育の授業、四国一周マラソン、放課後の駅伝部などで練習を積んできた児童は、熱い声援を受けながら全力で走り切りました。



クリスマス会 菊間隣保館学習会と葉山学習会の児童・生徒が参加して、クリスマス会が開かれました。身近にある差別や偏見についてクイズや劇を交えて発表し、幅広い視点から人権について考えました。



ミニ音楽会 1・2年生、3・4年生が、それぞれミニ音楽会を開きました。児童は、合唱、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、打楽器、ダンスなど様々な方法で曲の世界を表現し、音楽の楽しさを満喫しました。



長縄跳び集会 「えひめ子どもスポーツITスタジアム(8の字ジャンプ部門)」の記録更新を目指して、長縄跳び集会が開かれました。児童は、練習を通じて高まった学級の団結力を生かし、好記録を達成しました。



外遊び

寒くても、
亀の子は
元気です。

